

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年11月11日

【四半期会計期間】 第32期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）

【会社名】 夢みつけ隊株式会社  
（旧会社名 STEILAR C.K.M株式会社）

【英訳名】 YUMEMITSUKETAI Co., Ltd.  
（旧英訳名 STEILAR C.K.M COMPANY）  
（注）平成23年6月28日開催の第31期定時株主総会の決議により、平成23年7月1日から会社名を上記のとおり変更いたしました。

【代表者の役職氏名】 代表取締役 佐々木 ベジ

【本店の所在の場所】 東京都新宿区愛住町13番地10

【電話番号】 03（5369）7831（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役 加藤 和弘

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区愛住町13番地10

【電話番号】 03（5369）7831（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役 加藤 和弘

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所  
（大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次		第31期 第2四半期連結 累計期間	第32期 第2四半期連結 累計期間	第31期
会計期間		自 平成22年 4月1日 至 平成22年 9月30日	自 平成23年 4月1日 至 平成23年 9月30日	自 平成22年 4月1日 至 平成23年 3月31日
売上高	(千円)	1,921,212	1,542,133	3,702,341
経常利益	(千円)	36,027	109,574	126,193
四半期(当期)純利益	(千円)	8,140	93,499	57,951
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	16,236	70,253	54,813
純資産額	(千円)	440,952	582,257	512,003
総資産額	(千円)	2,361,855	2,203,945	2,245,136
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	0.83	9.52	5.90
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	18.1	25.9	22.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	16,988	161,086	99,056
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	10,372	5,242	23,819
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	45,903	24,754	111,859
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	(千円)	304,766	438,360	307,464

回次		第31期 第2四半期連結 会計期間	第32期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自 平成22年 7月1日 至 平成22年 9月30日	自 平成23年 7月1日 至 平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	1.25	3.46

(注) 1. 売上高に消費税等は含まれておりません。

2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
3. 第31期第2四半期連結累計期間及び第31期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。第32期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第31期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更等はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の落ち込みからは一部に回復傾向が見られたものの、電力不足の懸念に加えて欧州並びに米国の財政問題等による円高の進行などにより、先行きへの不透明感を残しながら推移いたしました。当社が属する通信販売業界におきましても、消費者の生活防衛意識は根強く、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、活動をしてまいりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 通販小売事業

主力となる通信販売カタログの販促活動においては、総合カタログ「夢みつけ隊」の発行に合わせ電話による顧客へのアプローチを行い、注文時のアップセル・クロスセルを強化することで、顧客単価の向上と休眠顧客の掘り起こしに努めました。

商品開発では、「コストダウンチーム」を中心に、引き続き商品原価率を引き下げる取り組みを進めました。

自社サイト「夢隊WEB」においては、サイトの利便性の向上、顧客獲得コストの効率化に取り組んで参りました。

以上の結果、通販小売事業の売上高は1,460百万円(前年同四半期比18.2%減)となり、セグメント利益は202百万円(前年同四半期比41.8%増)となりました。

#### 不動産事業

不動産事業においては、新規の不動産の取得を行わず、保有する不動産の賃貸を行っております。

以上の結果、不動産事業の売上高は40百万円(前年同四半期比3.5%増)となり、セグメント利益は11百万円(前年同四半期比58.1%増)となりました。

#### その他

グリストラップ浄化装置等のレンタル事業においては、新規の設備の取得は行わず、既存の設備のレンタルを継続しております。

以上の結果、その他の売上高は41百万円(前年同四半期比57.8%減)となり、セグメント利益は6百万円(前年同四半期比49.0%減)となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は1,542百万円(前年同四半期比19.7%減)、営業利益は127百万円(前年同四半期比127.9%増)、経常利益は109百万円(前年同四半期比204.1%増)、四半期純利益は93百万円(前年同四半期比1,048.6%増)となりました。

#### (2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ130百万円増加し、438百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が103百万円あり、また売上債権の減少が85百万円あったことなどから、161百万円の増加(前年同四半期は16百万円の増加)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより、5百万円の減少(前年同四半期は10百万円の減少)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済などにより、24百万円の減少(前年同四半期は45百万円の減

少)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,496,000
計	20,496,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	10,458,000	10,458,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株 であります。
計	10,458,000	10,458,000		

(注) 発行済株式数のうち、2,430,774株は、現物出資(投資有価証券 150,708千円)によるものであります。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		10,458,000		534,204		527,440

( 6 ) 【大株主の状況】

平成23年 9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
佐々木ベジ	東京都千代田区	5,334	51.00
有限会社クフ	東京都渋谷区松濤一丁目17番2号	1,400	13.39
夢みつけ隊株式会社	東京都新宿区愛住町13番地10	641	6.13
橋本勝司	東京都渋谷区	563	5.38
大阪証券金融株式会社	大阪府大阪市中央区北浜二丁目4-6	154	1.48
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番10号	104	1.00
金子一広	埼玉県川口市	80	0.77
丸山勝	東京都杉並区	56	0.54
山田俊和	兵庫県南あわじ市	54	0.52
北條規	埼玉県北本市	49	0.47
計		8,437	80.68

( 7 ) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年 9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等) (注)1	(自己保有株式) 普通株式 641,300		
完全議決権株式(その他)(注)2	普通株式 9,816,200	98,162	
単元未満株式	普通株式 500		1単元(100株)未満の 株式
発行済株式総数	10,458,000		
総株主の議決権		98,162	

(注)1. 「完全議決権株式(自己株式等)」の欄は、全て当社保有の自己株式であります。

2. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式2,000株が含まれております。なお、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権数の数20個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式 数(株)	他人名義所有株式 数(株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
夢みつけ隊株式会社	東京都新宿区愛 住町13番地10	641,300		641,300	6.13
計		641,300		641,300	6.13

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清流監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	307,464	438,360
受取手形及び売掛金	352,085	266,200
商品	175,273	155,809
販売用不動産	193,208	193,208
貯蔵品	2,569	2,561
その他	115,811	100,829
貸倒引当金	32,399	23,228
流動資産合計	1,114,012	1,133,740
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	672,391	672,771
減価償却累計額	127,540	137,560
建物（純額）	544,850	535,211
車両運搬具	13,699	13,137
減価償却累計額	12,633	12,270
車両運搬具（純額）	1,066	867
工具、器具及び備品	49,420	48,885
減価償却累計額	33,559	33,805
減損損失累計額	9,190	9,190
工具、器具及び備品（純額）	6,670	5,889
機械及び装置	245,944	195,177
減価償却累計額	171,493	142,666
減損損失累計額	12,477	12,477
機械及び装置（純額）	61,974	40,033
土地	244,671	244,671
その他	10,617	10,617
減価償却累計額	3,066	4,054
その他（純額）	7,550	6,562
有形固定資産合計	866,784	833,235
<b>無形固定資産</b>		
無形固定資産合計	11,117	7,896
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	122,907	101,873
長期貸付金	194,109	193,269
その他	78,413	74,638
貸倒引当金	142,208	140,708
投資その他の資産合計	253,221	229,072
固定資産合計	1,131,123	1,070,204
資産合計	2,245,136	2,203,945

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	292,369	238,144
短期借入金	723,213	704,219
1年内返済予定の長期借入金	3,828	3,828
未払金	134,531	103,096
返品調整引当金	3,399	3,538
ポイント引当金	16,807	15,377
リース解約損失引当金	5,806	5,806
その他	85,362	86,346
流動負債合計	1,265,318	1,160,358
固定負債		
長期借入金	439,634	433,881
その他	28,180	27,448
固定負債合計	467,814	461,330
負債合計	1,733,133	1,621,688
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	534,204	534,204
資本剰余金	527,440	527,440
利益剰余金	300,713	207,213
自己株式	221,232	221,232
株主資本合計	539,698	633,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,092	61,645
その他の包括利益累計額合計	41,092	61,645
少数株主持分	13,396	10,703
純資産合計	512,003	582,257
負債純資産合計	2,245,136	2,203,945

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,921,212	1,542,133
売上原価	960,018	726,155
売上総利益	961,193	815,978
販売費及び一般管理費	905,312	688,607
営業利益	55,881	127,370
営業外収益		
受取利息	124	63
受取配当金	342	342
業務受託手数料	3,250	2,315
貯蔵品売却益	1,225	-
その他	1,732	3,027
営業外収益合計	6,676	5,748
営業外費用		
支払利息	25,792	22,963
その他	736	580
営業外費用合計	26,529	23,544
経常利益	36,027	109,574
特別損失		
固定資産除却損	11,354	6,288
リース解約損失引当金繰入額	6,860	-
その他	909	267
特別損失合計	19,124	6,555
税金等調整前四半期純利益	16,903	103,018
法人税、住民税及び事業税	5,736	12,211
法人税等合計	5,736	12,211
少数株主損益調整前四半期純利益	11,167	90,806
少数株主利益又は少数株主損失( )	3,026	2,692
四半期純利益	8,140	93,499

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,167	90,806
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	27,404	20,553
その他の包括利益合計	27,404	20,553
四半期包括利益	16,236	70,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,263	72,946
少数株主に係る四半期包括利益	3,026	2,692

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,903	103,018
減価償却費	38,732	31,747
のれん償却額	1,273	-
貸倒引当金の増減額（は減少）	2,307	10,671
返品調整引当金の増減額（は減少）	2,475	139
ポイント引当金の増減額（は減少）	103	1,430
受取利息及び受取配当金	467	405
支払利息	25,792	22,963
為替差損益（は益）	181	193
固定資産除却損	11,354	6,288
売上債権の増減額（は増加）	18,908	85,884
たな卸資産の増減額（は増加）	6,535	19,472
仕入債務の増減額（は減少）	43,738	53,924
未払金の増減額（は減少）	19,168	31,066
その他の流動資産の増減額（は増加）	32,631	14,926
その他の流動負債の増減額（は減少）	15,855	9,737
その他	2,405	3,943
小計	43,883	181,341
利息及び配当金の受取額	468	405
利息の支払額	19,924	19,967
和解金の支払額	1,500	-
法人税等の支払額	5,938	2,335
法人税等の還付額	-	1,641
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,988	161,086
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	13,859	6,765
有形固定資産の売却による収入	133	-
無形固定資産の取得による支出	1,023	-
貸付金の回収による収入	740	840
預り保証金の返還による支出	350	317
預り保証金の受入による収入	2,910	1,024
その他	1,076	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,372	5,242

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	100,525	18,994
長期借入れによる収入	14,000	-
長期借入金の返済による支出	3,353	5,753
担保差入定期預金の回収による収入	44,000	-
配当金の支払額	25	7
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>45,903</b>	<b>24,754</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	181	193
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	39,468	130,896
現金及び現金同等物の期首残高	344,235	307,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 304,766	1 438,360

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	受取手形裏書譲渡高
営業外受取手形裏書譲渡高 109,933千円	営業外受取手形裏書譲渡高 108,941千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
販売促進費 363,588千円	販売促進費 241,389千円
従業員給与・賞与 137,053千円	従業員給与・賞与 118,714千円
荷造配送費 96,632千円	荷造配送費 81,701千円
減価償却費 8,993千円	減価償却費 8,502千円
貸倒引当金繰入額 1,866千円	貸倒引当金繰入額 8,846千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 306,266千円	現金及び預金勘定 438,360千円
担保に供している定期預金 1,500千円	現金及び現金同等物 438,360千円
現金及び現金同等物 304,766千円	

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	通販小売事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,784,124	39,363	1,823,488	97,723	1,921,212
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,784,124	39,363	1,823,488	97,723	1,921,212
セグメント利益	142,724	7,266	149,990	12,470	162,460

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タレントの育成及びマネージメント業、通所介護サービス事業及びグリストラップ浄化装置のレンタル業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	149,990
「その他」の区分の利益	12,470
全社費用(注)	106,579
四半期連結損益計算書の営業利益	55,881

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	通販小売事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,460,144	40,726	1,500,871	41,262	1,542,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,460,144	40,726	1,500,871	41,262	1,542,133
セグメント利益	202,446	11,490	213,936	6,357	220,294

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通所介護サービス事業及びグリストラップ浄化装置のレンタル業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	213,936
「その他」の区分の利益	6,357
全社費用(注)	92,923
四半期連結損益計算書の営業利益	127,370

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日 )
1 株当たり四半期純利益金額	0円83銭	9円52銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	8, 140	93, 499
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )		
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	8, 140	93, 499
普通株式の期中平均株式数 ( 千株 )	9, 816	9, 816

( 注 ) 前第 2 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第 2 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

夢みつけ隊株式会社

取締役会 御中

清流監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 安田 裕

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 小河原 崇生

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている夢みつけ隊株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、夢みつけ隊株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。